

事業計画書

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 フォレストサイクル元樹

電話番号 090-9631-1610

住所 宮城県栗原市若柳上畑岡大立85-3

令和元年度事業計画書 ①

特定非営利活動法人 フォレストサイクル元樹

事業実施の方針

岩泉の「原木しいたけ用ホダ木生産」事業、キッチリした成果と3年目以降への道筋をたてる

1. 残材・不要物の有効活用を見据えた施業及び、萌芽等保育施業着手

岩泉での事業が活動2年目を迎える。昨年度は、初めての広葉樹林を相手に、泊まり込みでの作業等不安だらけでスタートしたが、今までの針葉樹林での様々な経験や工夫は無駄ではなかったことを実感できた1年でした。計画以上の成果を伴ったということも大きな意味があると感じています。既に平成30年度もスタートし4月から岩泉の現場にも入っています、現時点で2,000本以上のコナラへのマーキングは終了しており、更に昨年に続き今年は新たに2本の作業路の新設・修復及び既存路の延長を計画しており、既に森林組合には工事委託も住んでいる。計画通りに作業路ができれば、昨年よりかなり効率よく昨年以上の成果への期待が膨らみます。

また、昨年1年間の施業で得られた経験を基に、作業方法・作業手順等幾つかの改良点も見つかり、本年度はより安全に効率の良い施業が実現できるのではと考えています。現在やっている場所は、先先代の頃から手を入れてきた形跡が見えており、本事業で目指すところの「コナラの純林化」も決して非現実なものではなく今後の施業の仕方にかかっていると確信しています。今後の長期での活動を見据え、本年度は活動全体の事業に必要な資格等、取得できるものはスタッフ含め極力取得してゆく計画です。既に、車両系建設機械他幾つかの講習を受講し、スタッフ共々資格を取得。工房作業における木材加工機械作業主任者等の資格も年度内に取得予定で考えています。将来を見据えても自前で重機を持つとの考えはありませんが、あって邪魔になるものではなく今後の事業のどこかで必ずや役立つものと考えます。幸い法人を立上げ以降労災となる様な事故は皆無であり、今後とも安全を第一に活動に邁進してゆこうと思っています。



令和元年度事業計画書 ②

特定非営利活動法人 フォレストサイクル元樹

事業実施の方針

2. 「間伐材工房 元樹」運営 - 「ホダ木生産事業」で必然的に発生する不要樹や林地残材の有効活用

岩泉の広葉樹林での定期的な活動を1年終えて見て、長期の計画目標がホダ木用コナラの純林化に向けた施行で有る為、予想以上に豊富な種類の広葉樹が排出されることを確認できた。28年度までのスギ林でもそうだったが、小径木や曲がり材、枝等を活用しようとの動きは殆どなかったのと同様、岩泉地域含め広葉樹の小径木や枝も現状活用が全くなされていない。29年度初年度から、樹種が豊富な広葉樹には枝も含め十分活用が見込めるのではないかと実感。現に、小径木・枝等の活用で昨年だけで50万円以上の収益に繋げることができた為、今年度は「水中貯木乾燥材」に「お風呂上がり」をキーワードに、付加価値を付けた木材のブランドとして市場や消費者にアピールしてゆこうと考えています。

その為にも、今年度中に「水中貯木乾燥」の一定の範囲の厚みにおける、貯木時間・乾燥時間・貯木と乾燥の方法の確立を目指します。第一弾として、「はじめての積み木」のギフトボックスバージョンを製作し、様々なチャンネルでPRしてゆくと同時に、岩泉町内の「道の駅」で取り扱ってもらえる様相談予定。「はじめての積み木」は、スギ間伐材を使用して制作しているが、今年度から広葉樹詰合せバージョンを樹種名の焼印付きでラインナップに入れてゆく計画です。ギフトボックスも大中2種類の大きさに製作し、広葉樹・針葉樹の「はじめての積み木」の他、広葉樹の輪切り材の詰め合わせ的な路線も検討中。道の駅担当者やグットトイ事業者等とも相談しながら進めてゆく計画です。付加価値を付け、他の商品との差別化を図り、地元の資源を活用して他所にないものを、市場に消費者に届けることを目指し本年度は活動を進めていきます。枝も”自然木の積み木”として長さや太さを組み合わせ皮付きで商品化を測ってゆく。同時に、数年前からの懸案だった「森の缶詰」も豊富な樹種を生かし商品化に繋がりたいと思っています。



令和元年度事業計画書 ③

特定非営利活動法人 フォレストサイクル元樹

事業実施の方針

3. 薪・薪ストーブの普及拡大 -広葉樹の薪を手がかりとした既存ユーザー含めたアプローチ強化-

活動のテーマは29年度の計画と同一。昨年度は自発的な活動はほぼ実施できていない。薪ストーブの普及活動は、現状デモ用薪ストーブはない為と、29年度は岩泉の活動を優先させた為、薪ストーブフェスタへの参加も見送り積極的な活動は特に途絶えています。昨年度から、ナラ主体の広葉樹の薪の自己調達ができる環境が整った為、薪の販売と連動させて普及活動にも積極的に取り組んでいく予定です。まず、年度内の早い時期にデモ用の薪ストーブを何とか自前で持てる様予算取をしてゆきたいと考えています。薪の販売についても、自社トラックの他に車を手配して取扱量を増やし、並行して新たな薪の定期的な購入者を獲得する為にフェスタ等イベントにも参加しPRしてゆくことと、ウッドブロックの時の様に、ストーブを使っている個人宅への直接アプローチも視野に進める予定です。

4. 新たな木育活動の模索 -原木シイタケ栽培のワークショップの展開-

本年度もフィールドが遠い為森遊び的な木育活動は考えていない。岩泉の現場のホダ木生産事業と関係又は連動するもので、広報効果が高いものは何かを考えた時、家庭菜園的に「個人の家で原木シイタケを栽培して食べることができる」を木育の一環として実施してはどうかと考えています。使う原木は当法人で用意し、菌打ち&収穫体験が違った時期にでき、生育過程でも様子を見たり手をかけたりすることができる為、楽しみが幾つにも広がる。提供するホダ木は、放射能検査に通った証明書付きで安心であり、若いホダ木を提供できる環境にあることも強みで有る。個人や地域・学校等広報対象は多岐にわたり、様々なステーションでアピールすることが可能ではないかと考える。原木代金含め収益確保においても期待できるのではないかと。今後ネットワークの様々な方々と相談の上具体的な進め方を検討予定。



令和元年度事業計画一覧

(千円)

事業名	NO	事業内容	事業内容の詳細	備考欄	実施時期	実施場所	予算
森林整備保全事業	1	森林・山村多面的機能 発揮対策事業(林野庁)	岩手県岩泉町上有芸地域での原木しいたけ用ホダ木生産を、交付金を使い実施	林野庁補助事業	通年：年間延100日前後	岩手県岩泉町	7,100
	2	原木しいたけ用ホダ木生産事業へのチャレンジ(パルシステム生協助成金)	「1」同様、原木しいたけ用ホダ木生産事業。本年度集材に向けた新たな作業路2本を新設・修復し、資源循環型森林保全事業への道筋をつける	助成事業	通年：年間延100日前後	岩手県岩泉町	1,400
	3	原木しいたけ用ホダ木生産をメインとした、広葉樹林の整備・造林・保育	コナラの優先率高め純林化を図れる森林面積の拡大を目指し、下刈り・灌木処理・不要樹除伐・作業道整備を実施	自主事業	通年：年間延100日前後	岩手県岩泉町	1,000
	4	規格外のホダ木用コナラ及び、整備過程で出る不要樹の新たな出口開拓	一般消費者や施設・学校への、家庭菜園的な原木シイタケ栽培の普及活動(体験会・勉強会)を通じてのホダ木の自主販売へのチャレンジと、定期的な薪購買者の開拓と販売による収益の確保	自主事業	通年：年間延100日前後	宮城県全域 岩手県全域	300
木質バイオマス普及事業	1	薪・薪ストーブの普及&販売	広葉樹林整備の過程で出る豊富な広葉樹薪の定期的な購買者の開拓と販売拡大及び、その他の活動連携による新規開拓	自主事業	通年	宮城県全域 岩手県全域	1,200
	2	木質バイオマス関連セミナー・体験会の開催	薪ストーブセミナーへの参加及び、木育活動と連動した体験会の開催	自主事業	通年	宮城県全域 岩手県全域	0
間伐材工房 運営事業	1	「木を伐って、木を燃し、木を使い、木で作る、木で遊ぶ」木育活動	今まで実施してきた、木を使った工作・薪割り・マイ箸づくり等各種体験会及び、森に人を呼び込むプログラム(森の探検・森遊び・木こり体験等)に加え、ホダ木生産事業過程で出る残材を活用した「原木シイタケ栽培」の菌打ち&収穫体験を企画し普及を目指す。。家庭菜園愛好者の取込み視野に、「木育」の一環として幼保施設や学校・地域の他、一般消費者もターゲットにアプローチ	自主事業	通年	宮城県全域 岩手県全域	100
	2	木育用木製品の開発・製作・販売	玩具・遊具等開発・製作した木製品の安定的な販路の開拓及び、「水中貯木乾燥材」を使い付加価値・差別化の図れる新商品の開発&販路の開拓。活動全体の認知度を拡大し、ネットワークを構築しながら、自主事業としての基盤の確立を目指す。	自主事業	通年	宮城・岩手県 中心に全国展開	800

収 支 予 算 書

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 02 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 フォレストサイクル元樹

住 所 宮城県栗原市若柳上畑岡大立85-3
電話番号 090-9631-1610

令和元年度（次年度）特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

平成31年4月1日から令和2年年3月31日まで

特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹

科目	金額(単位：円)		
1 収入の部			
1 会費収入			
正会員会費収入	¥ 130,000		
学生正会員会費収入	¥ 0		
賛助会員会費収入	¥ 0		
		¥ 130,000	
2 事業収入			
森林整備保全事業収入 (ホダ木生産事業・林野事業)	¥ 3,900,000		
木質バイオマス普及事業収入 (薪ストーブ販売&設置工事等・原木&薪販売)	¥ 800,000		
間伐材工房運営事業収入 (間伐材加工品販売・受注製作等)	¥ 1,800,000		
木育等木づかい普及事業収入 (ワークショップ。出前講座・イベント等)	¥ 100,000	¥ 6,600,000	
3 助成金収入	¥ 6,600,000	¥ 6,600,000	
4 寄付金収入			
当期収入合計(A)			¥ 13,330,000
前期繰越収支差額			¥ 1,167,413
収入合計(B)			¥ 14,497,413
II 支出の部			
1 事業費			
森林整備保全事業収入 (ホダ木生産事業・林野事業)	¥ 4,000,000		
木質バイオマス普及事業収入 (薪ストーブ販売&設置工事等・原木&薪販売)	¥ 700,000		
間伐材工房運営事業収入 (間伐材加工品販売・受注製作等)	¥ 7,500,000		
木育等木づかい普及事業収入 (ワークショップ。出前講座・イベント等)	¥ 90,000	¥ 12,290,000	
2 管理費			
人件費	¥ 744,000		
その他経費	¥ 250,000	¥ 994,000	
当期支出合計(C)			¥ 13,284,000
当期収支差額(A)-(C)			¥46,000
次期繰越収支差額(B)-(C)			¥1,121,413